

喫茶「カルディア」 そぴあにオープン

文教生活

そぴあしんぐうの改装工事が行われました。
4月3日オープンの喫茶「カルディア」の営業時間は10時から17時(大ホールイベント時は延長)です。
また、小ホールはダンスレッスンの利用が可能となりました。



喫茶「カルディア」オープン!!

介護保険料の見直し

福岡県介護保険広域連合介護保険条例の一部が改正され、介護保険料が見直しされます。

- グループの見直し
新宮町はCグループ(一番基準額が低い)基準額 4800円を5258円に変更
- 介護保険料の細分化 16段階から25段階へ
町民税課税者の場合は11段階から20段階へ
- 介護サービス利用者負担の変更
平成30年8月より一定以上の所得のある方の利用者負担額が3割に変更

湊機械利用組合の設立

平成30年2月22日、湊区公民館にて設立総会が行われました。

- 組合員 31人
- 加入面積 水田11・8ヘクタール
- 整備する機械
(869万円 内補助金300万円)
田植え機(5条植え) 1台
コンバイン(4条刈) 1台
籾搬送機 1台

相島診療所の運営体制が変わります

平成30年度より医師の夏期(4月から9月)の宿日直が見直され、診療終了後に最終便で島を離れることも可能となります。

医師の研修時には、半日休診などを設定します。



島民の健康を守る相島診療所

相島漁村留学スタート

平成30年4月より相島漁村留学が始まり、15人(小学生12人・中学生3人)の子どもたちが通学します。

通学時に利用するマリンクスおよび渡船しんぐうの使用料は「相島漁村留学通学補助金交付要綱」に基づき交付されます。



一般質問

町政を問う

一般質問とは、定例会において議員が町の行財政全般について、町と政策論争をするものです。

質問事項は事前に通告し、質問者は30分の持ち時間内で質問します。

第1回定例会の一般質問は、平成30年3月6日(火)に5人が行いました。

議事録は、議会事務局及び町立図書館で閲覧できます。また、質問の様子は録画配信しています。(19ページ参照)

※一般質問の原稿は質問者の提出原稿をもとに作成しています。

- | | | | |
|---|-----------------------|----|----|
| 1 | 大牟田直人 | 議員 | 12 |
| | ・3次喫煙対策の必要性は | | |
| 2 | 松井 和行 | 議員 | 13 |
| | ・クロスカントリー式マラソン大会を | | |
| 3 | 庵原 伸一 | 議員 | 14 |
| | ・選挙公約の進捗は | | |
| 4 | 上畝地白馬 | 議員 | 15 |
| | ・情報技術を使った町政運営の長期ビジョンは | | |
| 5 | 横大路政之 | 議員 | 16 |
| | ・受益者負担算定基準の策定・公表を | | |

3次喫煙対策の 必要性は



大牟田直人 議員

教育長

教育施設だけでなく 社会全体で対策すべき

*【3次喫煙(サードハンドスモーク)】 たばこを吸い終わった喫煙者の呼気、髪の毛、衣類などに残ったたばこの残留物から有害物質を吸入すること。



3次喫煙から子どもを守る取り組みを

問 たばこの煙による、周囲の人の健康への悪影響が明らかとなつていく。特に子どもについては影響が大きく、保護することが重要であり、3次喫煙も懸念される。体調を崩す、授業に集中できないなど、3次喫煙の影響を感じる子どもの現状は。

教育長 3次喫煙の影響については、学校での把握は困難である。現状では、たばこの影響で気分が悪いという子どもの報告は受けていない。

問 現在、2次喫煙を防ぐ対策は取られていると思うが、3次喫煙の対策の必要性についてどう考えるか。

教育長 3次喫煙がDNAにダメージを与える可能性が明らかになっていく。教育施設に限らず社会全体で対策をとっていくべきだと思う。

問 学校教職員は子どもへの影響が大きい。子どもと接する直前は吸わない、喫煙後の歯磨きうがいを徹底する、服をブラシで払うなど、できる対策から取り組みなにか。

教育長 子どもたちへの影響を最小限にする考えで状況を見極めたい。3次喫煙については社会全体で考えるべきことだと思つので、様々な検討をしていきたい。

問 3次喫煙に関する啓発活動はできないか。

町長 母子健康手帳交付時や乳幼児健診時、広報誌や健康診断の結果を伝えるときにも、禁煙への助言を行っている。

3次喫煙とは何か、身体にどのような影響があるのかの調査・啓発に力を注いでいきたい。

問 子育て世代の保護者や教職員を対象とした禁煙外来の助成など、子どもに関わる人の禁煙を促す施策はできないか。

町長 経済的な理由で禁煙外来に行けないということは考えづらく、禁煙を促すには啓発活動に尽きると考える。禁煙に関する相談や、禁煙外来の紹介を実施していく。

問 災害発生時に安否確認や支援物資の情報収集を行うための通信手段として、収容避難所にWi-Fi環境を整備できないか。

町長 東日本大震災以降、情報伝達手段の確保の必要性、重要性が認識されており、Wi-Fi整備の有用性は高い。平時の際の活用や、どこから優先的に整備するのかなど、調査研究していきたい。



収容避難所にWi-Fi整備を

収容避難所へWi-Fi環境整備を

*【Wi-Fi】 パソコンやスマートフォンなどから無線でインターネットに接続する仕組み。災害などで電話が繋がりにくい場合もインターネットにアクセスしやすい。



松井 和行 議員

クロスカントリー式 マラソン大会を

今すぐ大会を開く
環境ではない

町長



平成29年度より町主催の保全活動が行われている楯の松原

問 楯の松原の歴史や、町に与える保全機能の重要性を町外に発信し、その豊かな自然環境を積極的に活用するために企画を検討することで、新たな観光事業として位置づけできると考える。

そこで、松原と新宮海岸をコースにクロスカントリー式マラソン大会を開催すれば、西鉄新宮駅の乗降客の増加につながり、また、大会にあわせて杜の宮グラウンドで地元物産の直販を行うことにより、地場産業のPRにもつながると考えるが、見解は。

町長 楯の松原や新宮海岸のすばらしい自然を広く発信し、活用したいという考えは理解できる。その環境を活かしたクロスカントリー式マラソン大会の実施にあわせ、地元物産の直販を行えば、地場産業のPRにつながる大会当日の西鉄新宮駅の乗降客は増加すると思われるが、あくまでも一時的な増加にとどまると懸念する。

また、参加者が増えれば「砂の芸術祭」の開催時のように、杜の宮グラウンドも駐車場として利用

することを考えなければならぬので、グラウンドを利用した直販も困難になると思う。

問 町内外の方に、素晴らしい松原を実感してもらい、保全を行う趣旨を伝えなければならぬと思う。

そのためにも、現地でイベントを開催し、地域、企業、学校の団体に協力を求め参画してもらおうことで、保全活動の認識へつながると考える。

そこで、ジョギングブームでもあり、クロスカントリーはどこでもできるわけではなく、唯一この松原でできると思うが、町長の見解は。



クロスカントリーに適した楯の松原と新宮海岸

町長 楯の松原が、いかに住民の生活環境に影響するかを伝えながら、まず地域の方に保全活動の参加を求めたい。

クロスカントリー式マラソン大会などを開催すれば、多くの方々に来ていただき、白砂青松の素晴らしさへの理解につながると思うが、今すぐ大会を開く環境ではない。



庵原 伸一 議員

選挙公約の進捗は

町長

施政方針に掲げた事項は着実に実施している



「進化するまち新宮」は着実に進んでいる

問 町長は平成27年6月定例会で、「進化するまち新宮」を創っていきたいと所信を表明され、その後も色々な場面で政策提案などをされ、現在2期目の最終年度を迎えようとしているが、成果及び進捗状況並びに今後の課題を伺う。

町長 議会、町民皆様のご理解や職員の協力により、着実に実施してきた。成果は町民が判断することである。土地利用、地域振興、福祉施策などの課題があるが、事業実施するためには計画的な財源確保が

重要である。

また、第6次新宮町総合計画策定に向けて住民アンケートや住民懇談会を開催し意見を集約していきたい。

問 新宮漁港の有効活用は。

福田副町長 漁港までの県道拡幅は県宮河川を改修することで協議しているが難しい状況である。漁港内にある施設の活用は、相島活性化プランの中でも課題として取り上げている。

問 三代地区の土地区画整理事業の推進は。

福田副町長 県の都市計画課と協議をしているが安易な人口増や商業施設を計画することは厳しい状況である。

区画整理事業を進めるためには、東部地域の基盤として三代・的野線を早期に整備することが必要であり、そのためにも

スマートインターがあった方が効果的である。

問 学校給食への地元食材の活用は。

学校教育課長 昨年からは各学校に給食選定委員会を設け、業者の登録制により地産地消を進めており、ひとまるの里、新宮相島漁協、JA粕屋から食材を納入している。

問 保育士の確保と、待機児童の解消は。

町長 待機児童解消については、定員確保のため定員増の対策をしてきた。また補助金を計上し、

0〜2歳児の保育士の確保に努めているが、厳しい状況で、現在37人の待機児童がいる。

問 町の財政状況は。

町長 ふるさと納税制度ができた財政は好転している。

北小学校改修計画

は事実か

問 平成30年1月29日に開催された招待給食時に、平成31年度には教室が不足するため、平成30年度に体育館下の駐車場に教室確保の工事を行う予定であるなど近況報告があった。

学校側の報告が事実ならば、このような重要な事項を議会に説明もなかつた計画が進められていけば甚だ遺憾である。

これまでの経過を詳細に伺う。

教育長 日頃からお世話になっている方々への学校の現状と現時点で考えられる案として触れたものであり、決定事項としてお伝えした内容ではない。



上畝地白馬 議員

情報技術を使った町政運営の長期ビジョンは

長期ビジョンの策定は、未着手である

町長

*【ユビキタス社会】 いつでも、どこでもインターネットなどの情報ネットワークにつながるにより、さまざまなサービスが提供され、人々の生活をより豊かにする社会。



安全な情報管理体制を

問 本町は、*ユビキタス社会の実現や、電子自治体の構築を第5次新宮町総合計画（後期）基本計画の課題としてあげており、今後高度化する情報技術を使った行政運営に対応していく必要がある。

町長 インターネットセキュリティ対策や総合政策システムなどのクラウド化や情報連携による行政の効率化を進めている。

問 情報技術を使った行政運営の現状の取り組みは、

問 今後進めていく情報技術を使った行政運営の長期ビジョンは。

町長 国の計画に基づき、行政運営の効率化につながるよう施策を進めていきたい。国が示す長期ビジョンは未着手である。

問 情報技術を使って安全かつ効率的な行政運営をしていくためには、十分な体制構築が必要と考える。情報技術に関する管理体制の現状は。

町長 政策経営課が主体となり、管理している。システムや制度に依じて関係各課や保守管理委託業者と協議を行っている。セキュリティについては、本町のセキュリティポリシーに基づき、対策を実施している。



情報技術を活用した長期計画を

問 情報統括責任者及び補佐官の設置はできないか。

町長 本町において情報統括責任者に当たる役職は、IT化推進本部長である町長、補佐官に於ける役職は副町長並びに教育長である。現在のIT化推進については、国の計画や法で定められた内容のものが多く、政策経営課が主体となり各課を調整して運営している。

問 責任者を置いて、長期ビジョンを作っていくことが必要だと思いが。

町長 10年後には、自動車の自動運転も実現可能である話も聞く。また、人工知能を使うたいるような生活環境が変わる時代に入っている。対応できる自治体になるため、今から準備を進めていかなければならない。